

～土浦の将来を担う子どもたちからの問いかけ～ 現在時刻 15時21分

# 子ども模擬議会



平成30年7月5日開催

問広報広聴課(☎826-1111 内線2376)

第23回目となる「子ども模擬議会」が市議会議場で開催されました。この議会は、市内の小学生・中学生が議員になって、日頃感じている市政についての疑問を、市長をはじめ市の執行部に問いかけるものです。

今年は市内17校の小学校から選ばれた子ども議員17人と議会の様子取材する子ども記者17人が参加しました。議員のうち2人は議長となり、前半に7人、後半に8人のこども議員が登壇しました。

子どもたちの質問は、小中一貫教育や、来年開催される「いきいき茨城ゆめ国体」のPRについてなど様々でした。

子どもならではの視点から出された大人顔負けの質問の数々、そして子ども議員の活躍を取材した「子ども記者」を合わせて紹介します。



前半議長：マゴイ海汎さん(荒川沖小学校)



後半議長：栗原瑠美さん(新治学園義務教育学校)

## 避難場所の増設・拡張について

真鍋小学校：吉田こころさん

災害時に一時避難できる広い公園が近くにありません。増設や拡張をすることはできますか。



現在、市内には270箇所の公園・緑地があります。遊び場にも避難場所にもなる公園は、今後も計画的に整備を進めていきますが、時間もかかるため、すぐに増やすことは難しいと考えています。しかし、災害は、いつ起こるか分かりません。普段から避難計画について話し合い、もし地震が起きた時には、まず自分の身の安全を守ることを約束してください。

【望月総務部長】

## 霞ヶ浦の環境について

土浦第二小学校：井上碧生さん

霞ヶ浦やその周辺のゴミの増加が気になります。環境や施設などの改善はできますか。



霞ヶ浦や川の汚れは、水質とゴミ、それぞれ別の対策が必要です。水質については、茨城県が土浦港や新川において水をきれいにする施設を作り、アオコ対策をしています。ゴミについては、霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦などの清掃活動を実施しています。ご家庭でも色々な取り組みを行っていただければ、霞ヶ浦をきれいにする事ができ、多くの人が土浦市を訪れてくれるようになると思います。

【中川市長】

## アルカス土浦について

大岩田小学校：谷畑<sup>るな</sup>瑠南さん

アルカス土浦完成によってどのような効果がありましたか。また今後どのようなことを期待しますか。



アルカス土浦は、たくさんの方に図書館およびギャラリーが利用されるとともに、工夫を凝らした様々なイベントの開催により新たな賑わいを生み出すなど、中心市街地の活性化に大きく影響を与えています。今後は、駅周辺の商店街などにも人が集まる賑わいのあるまちづくりに向けての取り組みが重要となりますので、まちづくりについてみんなで話し合い、市の将来について提案をしてください。【塚本都市産業部長】

## プレイアトレについて

乙戸小学校：鈴木<sup>そうま</sup>颯馬さん

プレイアトレと今後どのように連携して、土浦市の活性化や観光産業の発展につなげていくのかを教えてください。



土浦市では、「プレイアトレ」のサイクルショップと連携し、市内を自転車でゆっくり走る「散走ツアー」や、土浦駅東口にあるサイクルステーションの整備などを実施しています。今後、「プレイアトレ」では、レストランやホテルなどが開業することから、土浦市のサイクリング環境をアピールし、地域の活性化を図ってまいります。【五頭副市長】

## 防災訓練について

土浦小学校：廣瀬<sup>たくろう</sup>拓朗さん

地震や火災などに備えた防災訓練を地域・学校とはどのように連携して取り組んでいますか。



市では、災害対策をまとめた「土浦市地域防災計画」をもとに、避難所の整備や災害情報の伝達など、様々な防災・減災の取り組みを行なっています。また、地域との連携として、各町内会の防災活動の支援や、地域・学校と合同で防災訓練を実施しています。これからも効果的な対策に取り組み、地域や学校などと連携を強化して「災害に強いまちづくり」を進めます。

【川村保健福祉部長】

## 学校給食センターについて

下高津小学校：飯嶋<sup>ていあら</sup>姫冠さん

給食センターで使っている食材はどこから仕入れていますか。また年間どれくらいの地産地消を目指していますか。



ゴボウやキュウリ、レンコンなどの食材は、土浦市内を中心に野菜などを取り扱うお店から仕入れています。また、地産地消については、土浦市内または茨城県内でとれた食材を給食に使う割合を全体の3分の1にするという目標を達成しています。地元の方々への感謝の気持ちをもちながら、給食の時間を楽しく過ごしてください。【井坂教育長】

## 防災対策について

都和南小学校：伊東<sup>みずき</sup>瑞起さん

土浦市には桜川がありますが、集中豪雨や災害時の対策はどのようになっていますか。



洪水対策として霞ヶ浦や桜川の堤防が整備されたことにより、安全性は大きく改善されています。水防訓練や防災マップの作成など、災害に備えた取り組みもしています。非常時の水の供給対策として、学校や公園など市内6箇所<sup>箇所</sup>に耐震貯水槽を設置しているほか、災害現場での給水活動のため、給水車2台、給水タンク4台を保有しています。また、水道管を地震に強い耐震管に替える工事を毎年計画的に行っています。【柴沼建設部長】

## 土浦市の予算について

菅谷小学校：武井<sup>くるめ</sup>来瞳さん

土浦市で1番お金がかかるものは何ですか。また、今後お金がかかりそうなものは何ですか。



市の一般会計予算の中で、最も金額が大きい取り組みは、少子高齢化の対策をはじめとする福祉や医療費に関する予算で、約192億円、全体の38%になります。今後、給食センターの新築、市民会館の改修工事が必要となるほか、福祉や医療費に関する予算の増加が見込まれます。そのため、これからも限りある予算を、大きな効果が出るように使っていきます。

【船沢市長公室長】

## AEDの設置について

右朧小学校：岩田凌空さん

コンビニにAEDが設置されている所がありますが、数が少ない気がします。すぐに増やすことはできますか。



現在市内の9店舗にAEDを設置しました。これは救急車が到着するまで時間がかかる地域の救急対策として、24時間営業というコンビニの利便性に着目して設置したものです。市内の色々な場所にあるコンビニにAEDが設置されれば、もしもの時の救命活動に大変役に立ちますので、これからもAEDの設置について、呼びかけを行っていきたいと思います。

【飯村消防長】

## ゴミの処理について

都和小学校：鈴木那奈さん

通学路にある雑木林にゴミが増えたり、団地でカラスが生ゴミを荒らしています。どのように対策できますか。



雑木林などの土地の所有者や管理者には、法律でその土地の清潔を保つ義務がありますので、ごみが捨てられないよう勝手に人が立ち入らないようにしたり、ごみを片付けていただくように働きかけています。また、ごみ捨て場でカラスがごみを荒らすなどの問題についてご相談があった場合は、カラスネットの使用をご提案しております。

【船沢市長公室長】



- 一、メモをとろう
- 一、情景も観察しよう
- 一、記事(文章)を書こう
- 一、写真を撮ろう

### 子ども記者、取材の心得

子ども模擬議会の取材を体験することによって、「見る・聞く・書く・表現する」という4つの力を育てることを目的として作られた「子ども記者クラブ」は、今年で13回目を迎

えました。子ども記者たちは、子ども議員たちの質問や答弁の様子をカメラに納めようと奮闘し、しっかりとその内容のメモを書きとめていました。

### 17人の記者、奮闘

# 子ども記者クラブ



- ① 會澤 紬さん (乙戸小)
- ② 橋本 楓さん (土浦小)
- ③ 塚田眞唯さん (上大津東小)
- ④ 宮本朝良さん (神立小)
- ⑤ 久保田 心さん (土浦第二小)
- ⑥ 神長由花里さん (都和小)
- ⑦ 小林菜々子さん (大岩田小)
- ⑧ 宮本姫歌さん (都和南小)
- ⑨ 北島典幸さん (荒川沖小)
- ⑩ 松尾俊英さん (真鍋小)
- ⑪ 小林 壘さん (東小)
- ⑫ 年恵清香さん (菅谷小)
- ⑬ 小松崎 望さん (新治学園)
- ⑭ 齋藤 琳さん (中村小)
- ⑮ 名雪 悠さん (下高津小)
- ⑯ 古谷奏真さん (右朧小)
- ⑰ 大久保佳音さん (上大津西小)

## 協同病院開設にともなう交通量増加について

上大津東小学校：金銅美玖さん

朝の交通量が特に多く、通り抜けする車が危険です。信号や横断歩道も少なく、市として何か対策は考えていますか。



横断歩道や信号機は警察が設置をしますが、警察では「車の交通量の変化などを見ながら検討したい」とのことでした。また、スクールゾーンは小学校を中心に半径約500メートルの地域となりますが、協同病院前の道路はスクールゾーンの地域に入っていません。このため、市では交通安全教室や街頭キャンペーンなどの交通事故防止活動を行っています。

【小松澤市民生活部長】

## 小中一貫教育について

東小学校：押 琉璃華さん

小中一貫教育を行うことで今までよりどんな良いことがありますか。また、いじめ問題などの対応はどうなりますか。



小学生は中学生へのあこがれや尊敬、中学生は小学生を思いやる気持ちをもつことができることや、いわゆる中一ギャップが少なくなることが小中一貫教育の良さです。また、いじめについては、先生方も早期に対応しますが、中学校の体験入学などの交流の機会を生かして、入学後も他の小学校から進学した友だちに積極的に話しかけ、親しくなってください。

【井坂教育長】

## 給食の栄養について

神立小学校：鈴木心音さん

土浦市の給食は、おかずの量や種類が少ないと聞きました。栄養的に充実しているのでしょうか。



土浦市では、肉、魚、大豆、卵などの料理(主菜)を1品、野菜、きのこ、海藻などの料理(副菜)を2品、給食のおかずとして提供しており、エネルギーやたんぱく質、ビタミンといった栄養も、みなさんが1回の食事が必要な量として国が決めた基準を満たしていますので、安心しておいしく残さずに給食を食べて、元気に健康で充実した小学校生活を送ってください。

【服部教育部長】

## 国際交流について

上大津西小学校：秋山凛太郎さん

社会の学習で、アメリカの都市と国際交流があると知りました。今後どのような国際交流を行っていく予定ですか。



姉妹都市のパロアルト市とは、お互いにホームステイや学校訪問を行う「中学生交換交流事業」を実施しています。また、市内約3800人の外国人市民が暮らしやすい環境を整えるとともに、様々な交流事業を行っています。今後も国際交流の取り組みを充実させるほか、魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えていますので、ぜひ外国の食文化体験イベントへの参加など、身近な国際交流を始めてみてください。【五頭副市長】

## 子ども模擬議会を終えて

子ども議員・子ども記者の皆さん、大変お疲れ様でした。皆さんからいただいたご質問・ご意見をお聴きして、皆さんがふるさと土浦のことを真剣に考えてくれているのだと感激いたしました。皆さんが体験した「子ども模擬議会」が、これからの

土浦市のよりよいまちづくり・地域づくりについて考えていただくきっかけになれば、嬉しく思います。皆さんが勉強やスポーツなど、充実した学校生活を過ごすことができるよう、心からお祈りいたします。

【土浦市長 中川 清】



## いきいき茨城ゆめ国体について

中村小学校：深谷遼太さん

いきいき茨城ゆめ国体に向けて、ぼくたちができることや、市民が協力できることはありますか。



友達や家族、多くの人たちと国体について話し合ったり、運動会で取り組んだ国体ダンスを地域のイベントで披露するなど、国体を盛り上げてください。市民の皆さんには、「花いっぱい運動」に町内で参加したり、国体のボランティアに参加していただければと思います。最大のおもてなしは、選手たちへ熱い声援を送ることだと思いますので、ぜひ、競技会場に足を運んでください。【中川市長】